

学校アンケート(後期)の結果について

保護者の皆様に前期に引き続き学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。本紙にて、その結果をお知らせ致します。

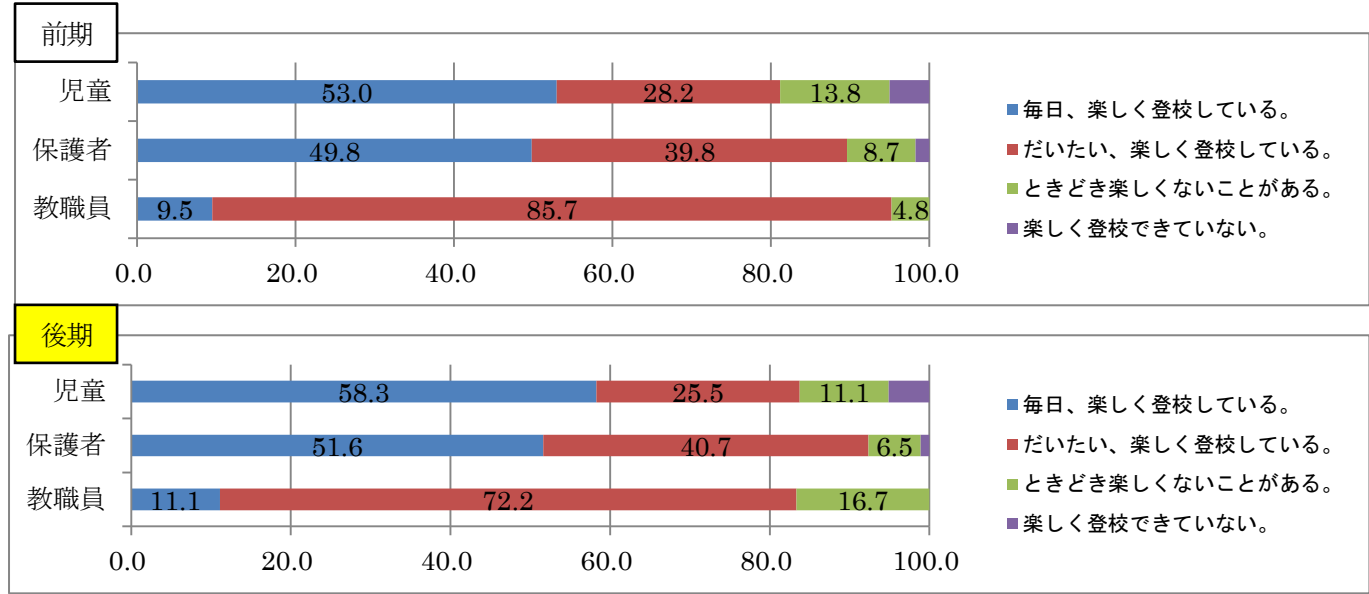
本校では、この結果を生かしながら、教育活動を行っていくよう努力してまいります。今後とも保護者の皆様にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



アンケート結果の見方について

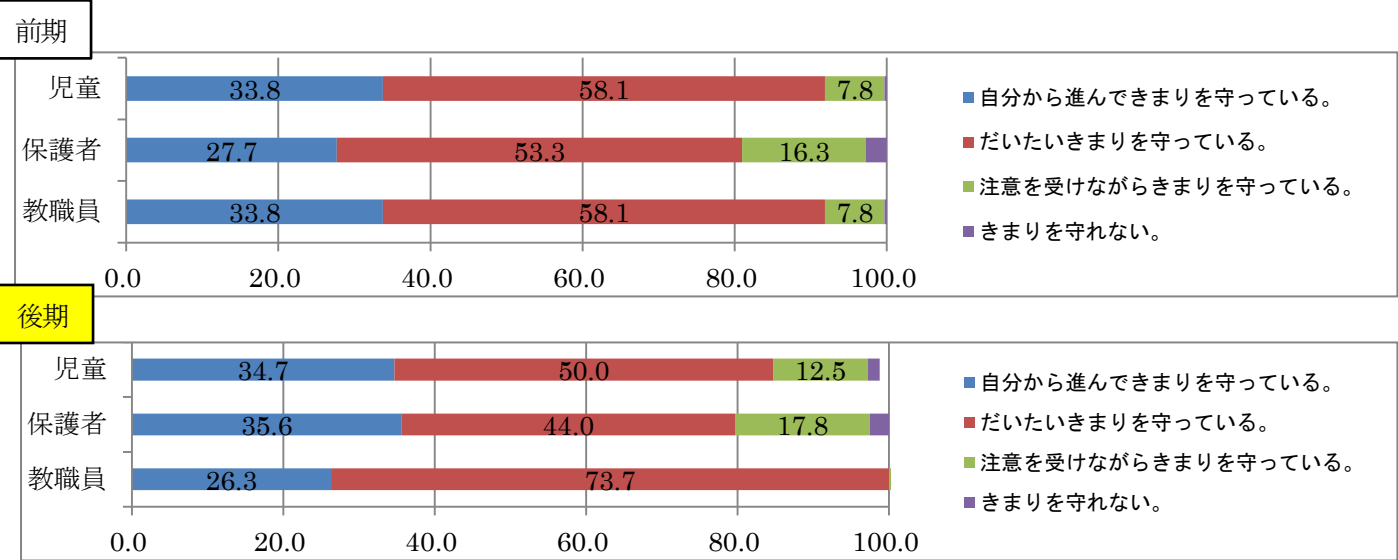
子ども、保護者、職員それぞれに実施したアンケートには、共通した項目があります。そこで、対比できるものについては各項目ごとに比較等ができるようグラフで表しています。問いは、各キーワードに関して、子どもは自分自身ができているか、保護者はご自身のお子さんができていると思うか、職員は、その内容に関する指導ができているかを表しています。また、青と赤の帯が高い評価、黄緑と紫がそうではない評価という見方も一つの方法です。

1. 学校に来るときの気持ちについて

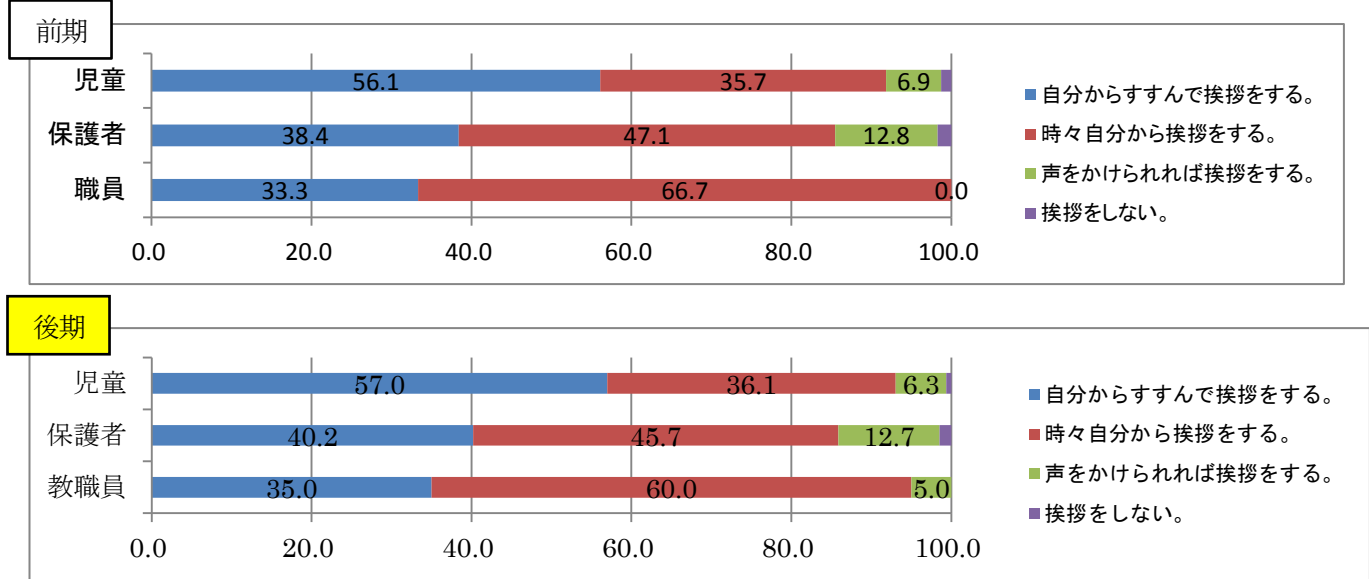


2. 学校のきまりについて

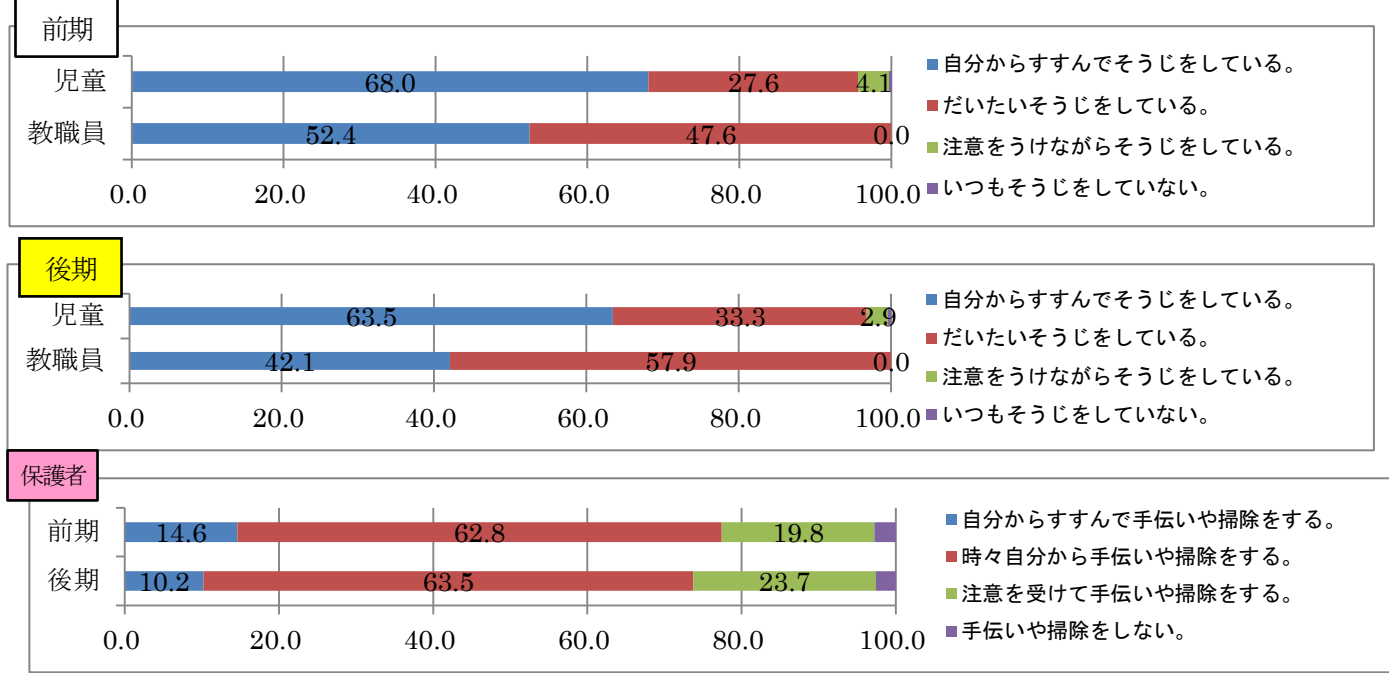
・ろうかを走らない ・チャイムを守る ・遅刻をしない など



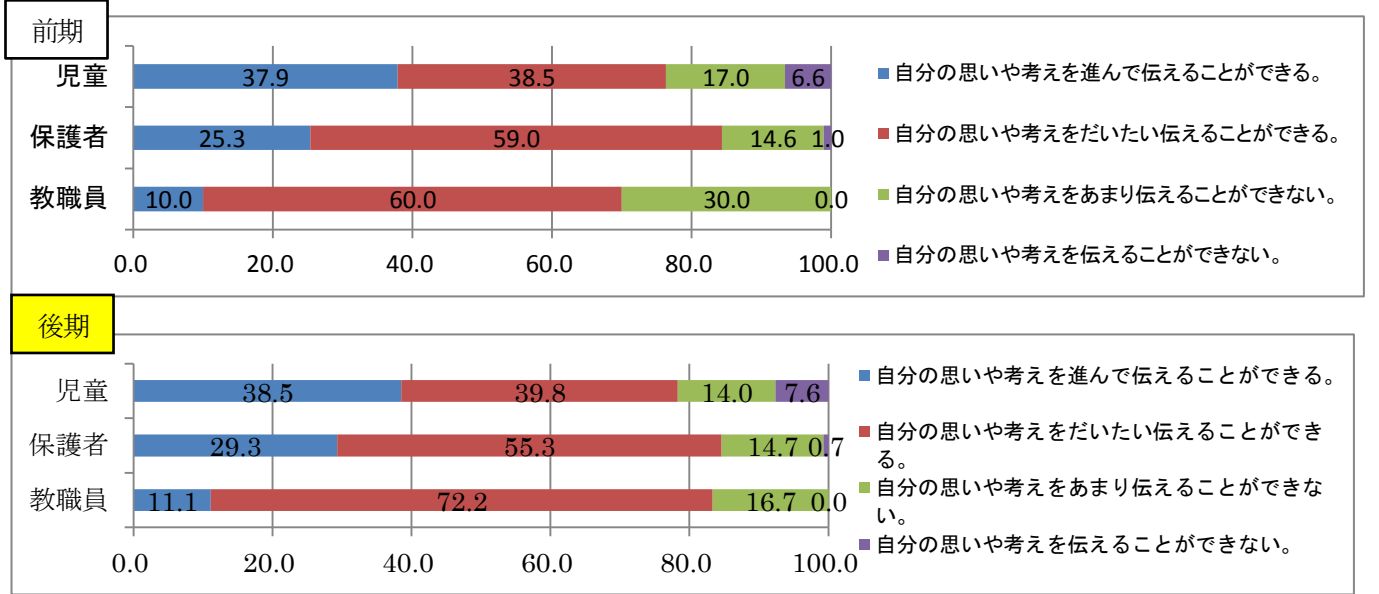
3. あいさつについて



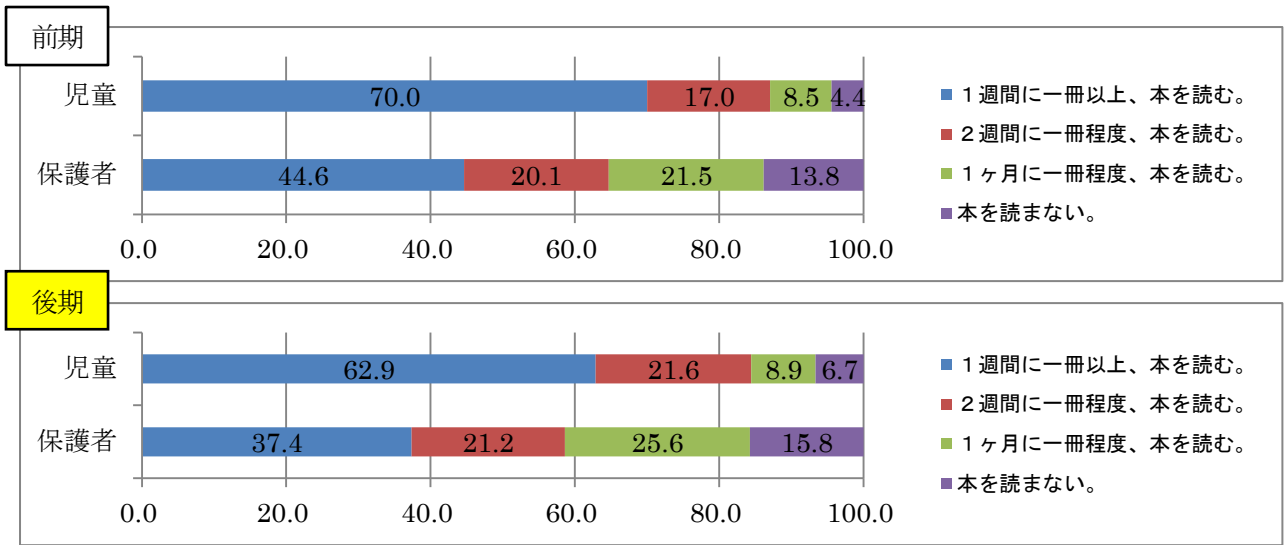
4. 学校のそうじについて(児童・教職員) 家庭での手伝いについて(保護者)



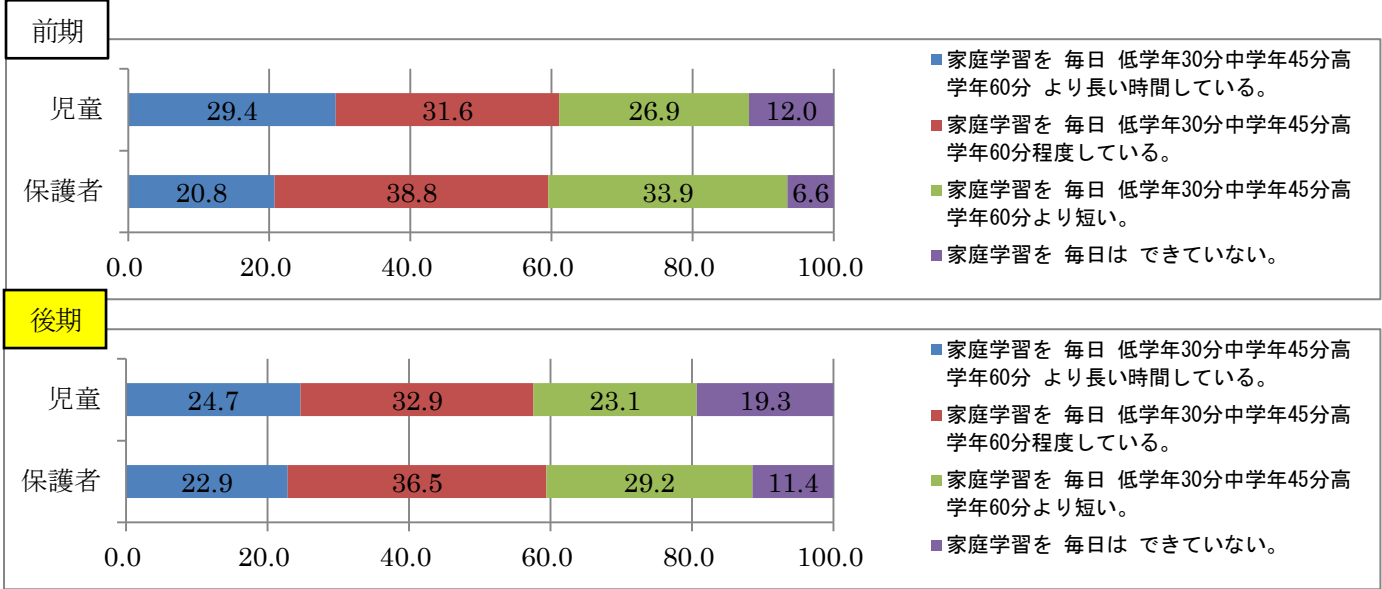
5. 自分なりの思いや考えを持ち、適切に伝える力について



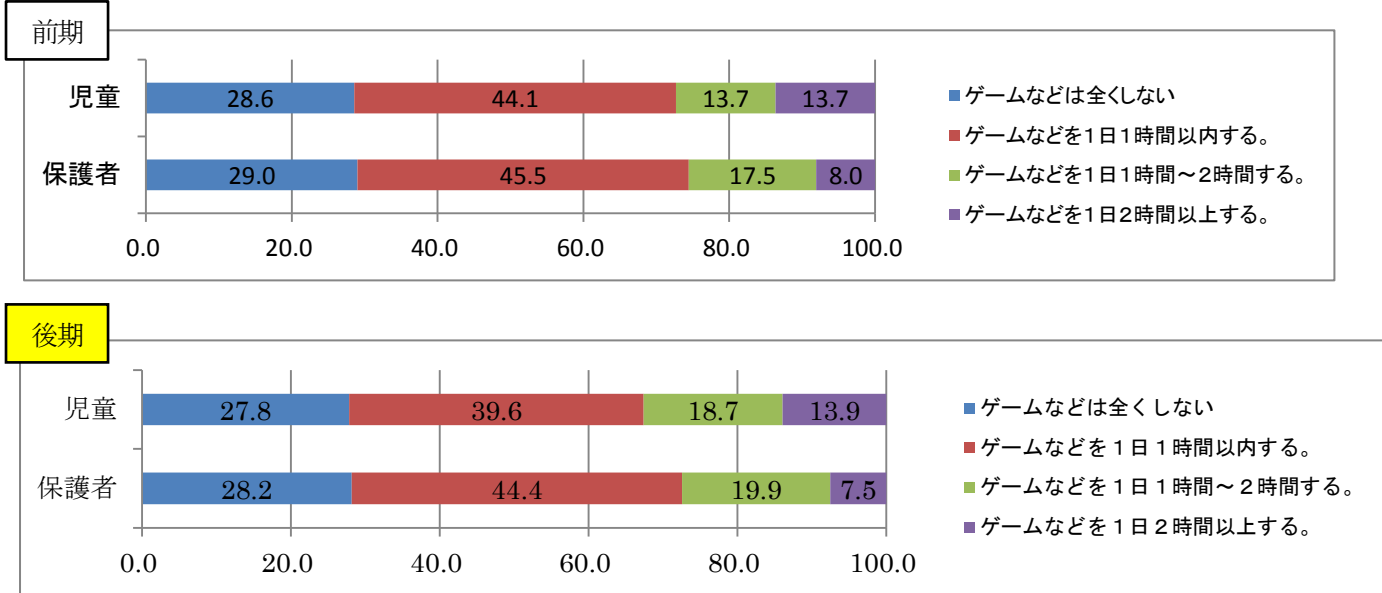
6. 読書について（児童・保護者） 朝の読書活動について（教職員）



7. 家庭学習について（児童・保護者）



8. 携帯電話やゲームについて（児童・保護者）



アンケートの分析

1 学校に来るときの気持ち 83%の児童、92%の保護者、83%の教職員が、おおむね「楽しく登校している」と選んでいます。前期と比べ、児童と保護者は向上しています。2学期は学校行事等で、様々な児童に活躍の機会が多くあり、充実していた結果だと考えられます。しかし、朝、登校が遅かったり、欠席しがちだったりして心配な児童がいます。引き続き家庭と学校が連携していくことにより、児童が楽しく登校できるようにしていきたいです。

2 学校のきまり 前期と比較して、児童の「きまりを守る意識」は、後退しています。保護者・教職員の見方では、前回同様であることから児童の「気のゆるみ」が気になります。学校全体で落ち着いた生活が送られている今だからこそ、よりよい泉台小学校になるよう積極的な指導をしていきたいです。

3 あいさつ 児童・教職員の90%以上、保護者の約85%が「挨拶はできている」と評価しています。前期と比べやや向上している様子が伺えます。毎月0の付く日に実施している「全市一斉あいさつの日」の取り組みが定着してきたあらわれのようです。教師・保護者など大人の方から声をかけていただく心がけていきましょう。言葉遣いについても全校で継続して指導していきます。

4. 清掃・手伝い 児童・教職員は、校内での掃除時間のことについて評価しました。95%以上が、おおむね掃除はできているという評価です。後期になって「自分からすすんで掃除をしている」児童が減っています。自分たちの学校は自分たちできれいにしていく奉仕の心をさらに育てていきます。庭での手伝いや掃除については、いつも自分からできる児童が10%程度です。家族の一員として役割を果たしていけるよう、心の育ちを進めていきましょう。

5, 思いや考えを持ち、適切に伝える力 77%の児童は「自分の思っていることを話すことができる」と考えています。一方、21%の児童は「自分の思いをうまく伝えることができない」状態です。言葉で伝え合うコミュニケーション能力は、これからの時代に強く求められている能力です。そこで、授業の中で積極的に児童が「自分の考え」を交流し合う場を設定し、「伝え合う力」を育成しています。家庭の中で「うまく伝えることができない」児童は約15%います。途中で口を挟まず、終わりまで話を聞いてやる余裕のある対応を心がけたいです。

6 読書 児童は「朝の読書」や学級での読書を考えて評価し、保護者は家庭での様子をを考えて評価しているようで、大きな違いが生じています。前期と比べ「週に1冊以上読む」児童、保護者は減少しています。これは、高学年の児童が読書する時間が十分にとれずにいたり、大作（厚い本）に取り組んだりしたため、冊数が増えなかったことも理由の一つに考えられます。国語科の学習の発展で教科書教材に関連した作品を「並行読書」させる取り組みを継続しています。テレビを消す時間を設けるなど、テレビ・ゲーム・スマホ等のメディア接触の時間について学校と家庭が連携して指導していきます。

7 家庭学習 57%の児童は、各学年の発達段階に応じた家庭学習をしています。より長い時間頑張っている児童が25%程度いる一方、時間が短かったり、学習しなかったりする児童も約20%います。また、後期になり「毎日できていない」と答えた児童、保護者が増えています。学校では継続して「宿題は必ず行い、自主学習を進める」よう指導していきますので、各家庭でも声をかけてください。

8. 携帯電話やゲーム ゲームを休みの日は時間を決めてするが、「平日はしない」という意見がありました。前期よりも、児童・保護者ともに長くしていると評価している人が増えています。また、30%をこえる児童が1時間以上している実態が見られます。使用時間の増加と学力の低下に関連性があるとの見解もあります。時間や約束を決めた携帯電話の使い方や、ゲーム・テレビの時間の在り方などについてお家でも子どもと話し合ってみてください。